

実施しています。ガイダンス等はライブ配信に加え、学生の都合の良い時間に閲覧できるよう動画コンテンツとして提供しています。また、これまで各キャンパスのセンターでしか閲覧できなかった各種情報も、オンライン掲示板を設置し、自宅等から閲覧できるようにしています。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しても、企業・団体のオンライン化された採用選考活動は継続されると予想されます。また、大学の支援もオンライン化による利便性の向上だけでなく、対面の支援と組み合わせた効果的な支援が期待されます。低学年向けには、キャリア支援に努めています。進学や留学等との関係で個別相談を受けることがあり、長いキャリア（人生）の中で学生時代にしかできないことや将来のために今やれることは何か

といった相談にも応じています。学生時代に何かにチャレンジすることの大切さを伝え、コロナ禍でもチャレンジする機会の提供といった支援も行っています。これまでは、新卒一括採用、年功序列、定年退職を前提としたメンバーシップ型採用が広く行われてきましたが、これからは、特定の職務を対象としたジョブ型採用が増える可能性があり、新卒採用のほか

に既卒採用を行う企業も増えていきます。労働市場はより流動化し、転職を経験する卒業生も多くなるかもしれません。その際に、大学全体で実施しているキャリア教育・キャリア支援の成果が生かされるはずです。こうした学生への支援は、マスコミからの取材が多く、「就職の明治」と評価いただいています。しかし、就職キャリア支援に力を入



れるようになったのは最近のことではありません。本学に学生の就職を支援する担当部署が置かれたのは100年ほど前のことであり、それ以来、社会で活躍する卒業生の協力もあって、変化する環境への対応が今日の充実した支援活動につながっています。より多くの学生が充実した学生生活を送り、納得のいく就職ができるよう、これからも環境変化に対応した就職キャリア支援を続けていきたいと考えています。

PROFILE

舟戸 一治
Kazuharu Funato
就職キャリア支援部長

1959年 熊本県生まれ
1983年 明治大学政治経済学部卒業
学校法人明治大学入職

人事部等を経て、2017年より現職
国家資格キャリアコンサルタント
全国私立大学就職指導研究会副会長

変化する環境への対応と 人生100年時代の 就職キャリア支援

就職キャリア支援部長 舟戸 一治



明治大学は、駿河台、生田、和泉、中野の各キャンパスに就職キャリア支援センターを設けており、本学学生であれば、どのキャンパスのセンターでも利用することができま。特にface to faceの個別相談に力を入れており、多い時には年間で延べ約3万件の相談を受けた実績があります。キャリアコンサルタント等の資格を持った職員が中心となって相談を担当しており、学生の悩みやニーズをいち早く把握したうえで、ガイダンスやセミナー等の企画・運営を行うため、社会状況の変化にも素早く対応できることが強みでもあります。学内で実施する支援行事も多く、OB・OGが残してくれた就職活動報告書は毎年多くの学生が利用しています。2020年度の就職活動はコロナ禍でこれまでと大きく様変わり

しました。対面の会社説明会等は中止となり、選考面接等もオンライン化されたことなどから、多くの企業の採用選考スケジュールが大幅に変更されました。その結果、学生の就職活動は長期化し、内々定を得る時期が前年度に比べて遅れる傾向にありました。こうした中でも、本学学生は変化に上手く対応し、2020年10月時点の就職内定率の学内調査では前年同月と変わらない水準を維持しています。センターでも就活環境の変化に対応すべく、従来の対面に



よる支援からオンラインによる支援へ移行しています。オンラインによる新たな支援イベントとして、多くの学生が相談事や悩みを共有できるグループ相談会を定期的に